

若い力は「考える力」でなければいけません

自分の考えを持っていますか？

世の中にはいろんな思想の持ち主がいます。もちろん、特定の思想を持つこと自体は悪くありません。問題は、その思想を持つに至るまでのプロセスです。自分の身の回りの事象に対して、問題意識を持ち、それに関する本を読み、他人の話聞き、さらには自分で考え抜いた結果、その思想、考えに至ったのであれば、それは大変素晴らしいことです。

しかし、〇〇さんが言っていることだから」みんながやっていることだから」といった理由でそれを受け入れてしまっているのであれば、それは、自分自身の思考を伴わないただの洗脳です。これは社会の常識だ！」絶対に〇〇したほうがいいよ！」このような言葉をよく耳にすると思えます。みなさんは、これらの言葉を聞いたとき、どのようにしていますか？有無を言わずに指示された通りに動いていませんか？

大事なものは、こういった言葉がどのような意味で使われているのか？素直に受け入れるべきなのか？自分自身で、疑問を持って考えることです。

もし、言われた通りに行動して、つらい思いをしてしまった場合、責任は誰が取るのでしょうか？

「常識」とはマジックワード

いろんな場面で使われる「常識」という言葉に対して、違和感を覚えたことはありませんか？社会では、多くの人々が様々な価値観を抱えて共存しています。このことから、「常識」というものは、時代や地域、所属する集団によって様々であり、決して一つではありません。もちろん、この「常識」には、社会通念上、妥当なものもあります。しかし、場合によっては、自分の考えや価値観の違う人間を非難するという目的で用いられることもあるのです。

これは社会の常識だ！」と言われたとき、それは自分にとって本当に正しいのか、考えてみましょう。私たちは自分のために生きています。他人の人生を生きる必要はありません。

長時間労働を余儀なくされた結果、「過労死」することが「社会の常識」ですか？



何かがおかしいと感じたら、立ち止まって考えよう！



若い力

第 71 号

2017年 5月15日

発責 国労九州本部

博多区博多駅東3丁目9番3号

ニッコーハイツ1003号

JR 092-2075

NTT092-483-1515